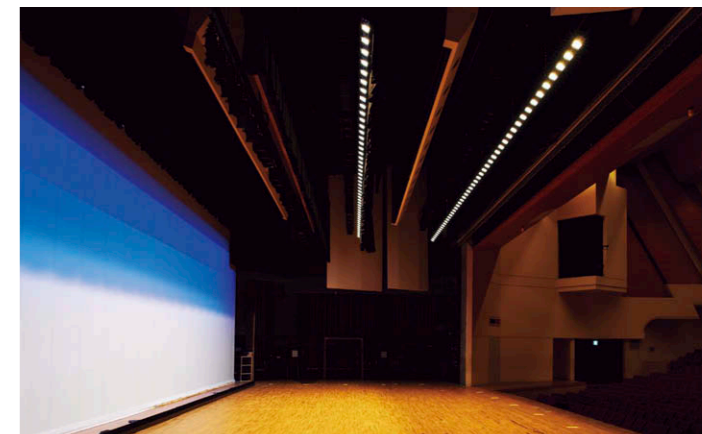


川崎市の麻生市民館は竣工後32年が経過、老朽化に伴い、今後の安定運用と安全確保のため大ホールの改修工事が実施されました。舞台照明器具、調光制御機器などに最新設備を導入し、今までに無い多様なニーズに対応する照明演出を可能にし、省エネ、省メンテナンスも実現しています。

麻生市民館は麻生図書館と合築の麻生文化センター内にある、市民の生涯学習を支援する施設として1985年に開設されました。以来、教育、学術、文化などに関する各種講座が開設され、広く利用されています。大ホールはクラシックからポップスなどのコンサートや舞台芸術に対応するワンストップ形式の多目的ホールで、開館直後の1986年から「麻生音楽祭」が毎年開催されるなど市民の芸術活動の場としても親しまれています。



【物件概要】
所在地：神奈川県川崎市麻生区万福寺 1-5-2
建築面積：3,999.86 m²
規模・構造：地下1階地上3階塔屋
舞台：奥行11.8m 間口15.5m プロセニウム高さ6.5m
客席数：1,010席
施主：川崎市
施工：電気/㈱小野崎電業
リニューアル完成時期：2018年3月



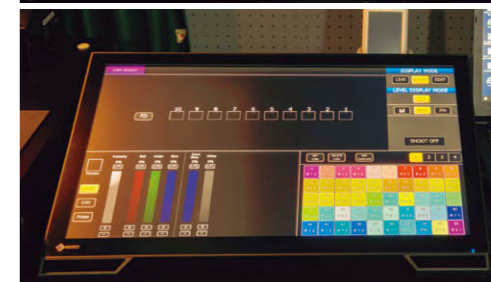
袖から見た舞台照明。



客席から見た舞台照明。



④ 調光操作卓



④ 調光操作卓内のカラー操作用タッチパネル

音響反射板のLEDシアターダウンライト①②による照明。

LED照明と調光卓の更新により多彩な演目に対応する柔軟な照明演出を実現。

大ホールのリニューアルは既存の設備構成を尊重しながら最新技術を取り入れ、機能性の向上を図っている点が特徴です。音響反射板の照明は0~100%まで美しく自然に調光、かつハロゲン同様暗くなるに連れ赤みを帯びながら消灯する調色タイプのLEDシアターダウンライト6000シリーズを採用。省メンテナンス・安全性だけでなく、演出効果も配慮しました。またLED化に伴い楽器への熱影響も低減しています。調光操作卓は中規模ホールに適した記憶機能と操作性にも優れた「LICSTAR-IV TypeJ」に更新しました。

ホールで上演される様々な演目は、5色タイプのLEDフラッドライトとカラー卓との新しい組み合わせで、より多彩な照明演出を実現。講演会などシーン数の少ない演目には、舞台袖の操作器でも操作できます。また、ワイヤレスシステムを導入したことにより、リモートで負荷点灯できるので、仕込み時間短縮に貢献します。このほか様々な異常検出機能を搭載したインテリジェント形調光器盤「PLUG-IN DIMSTAR III」を導入し安定運用を図り、万一のトラブルにも迅速対応が可能、またハロゲン器具をLED化する際も、LED器具に適した電源が供給できるユニットに容易に回路交換ができます。



③ インテリジェント形調光器盤

② LEDシアターダウンライト6000シリーズ

主な掲載器具一覧				
設置場所	器具名 (品種名)	形名	台数	備考
大ホール	LEDシアターダウンライト6000シリーズ	① AL-LED-ON-6-2	26	消費電力：93W
	LEDシアターダウンライト6000シリーズ	② AL-LED-ON-6-2S	12	消費電力：93W
	LEDフラッドライト(5色タイプ)	AL-LED-BL-5-C	10	消費電力：140W
	スポットライト		215	ハロゲンランプ
調光室	ポータブルディムスターIII	AL-TUIPT-10203-30	4	
調光室	インテリジェント形調光器盤	③ PLUG-IN DIMSTAR III	1式	
調光室	調光操作卓	④ LICSTAR-IV TypeJ	1式	